

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (NO.10)

2006.8.5

もくじ

1. 6 月度 第 11 回千葉演習林利用者説明会の聴講報告
スギ・ヒノキへのジベレリン処理作業他の報告
2. 6 月度 下刈り作業他の報告
3. 特 集 ハチ刺されと熱中症に対する対策
4. 9 月度 お月見研修 募集案内

6 月度 ボランティア活動の報告

～ 第 11 回千葉演習林利用者説明会聴講他～

ボランティア 石川冷子

6月20日(火)に第11回千葉演習林利用者説明会があり、岩崎、西山、原口、恵さんと石川(輝)、石川(冷)の6名が参加聴講しました。

私もボランティア会に入会して初めての参加です。

この説明会は千葉演習林を利用して研究を行っている東京大学の学生さんが自分の研究内容を発表し、相互の情報交換と理解・サポートを目的として行っているものです。ボランティア会としては初めての参加だそうです。

内容は専門的で良く理解できないところもありますが、学生さんの熱意は十分伝わってきました。

一般公開でおなじみの“袋山沢水文試験地”に関する森林理水及び砂防工学研究室の学生さんの発表をはじめ、森林やシカ関係など25項目と盛りだくさんで、聴講者も講義室が一杯で身動きの出来ないほどの盛況でした。



熱心に発表を聞く参加者



ジベレリン処理したヒノキ

ボランティア会としてもこれらの研究の場でいくつか協力できる場面があるなと感じました。夜は懇親会があり、互いの親交を深めました。

翌日の6月21日(水)はジベレリン処理作業と郷台宿舎の掃除を行いました。参加者は恵さんが都合で昨日帰られたので5名です。

ジベレリン処理作業については、種無しブドウをつくるなどで聞いた事があるのですが、実際に作業をするまでは演習林で何のためにやるのか、よく分かりませんでした。

職員の大塚さんの説明ではスギやヒノキの着花促進をさせて種を多く採取するために枝の一部をはい

で、ジベレリンを含んだゼリー状のものを塗って、テープでとめる作業とのことです。今回の場所は新田(2林班E小班)で樹齢26年程度のスギ、ヒノキに対して行いました。

なお、この処理はあまり煩雑にやると樹勢が衰えるので適当に間隔をおいて行う必要があるそうです。

作業は比較的短時間で終了し、その後郷台宿舎へ移動して昼食をとりました。

午後は郷台宿舎の掃除です。郷台宿舎はソーラー電源の設置、シャワー室の設置、畳の入れ替えなどなど段々快適な環境になっていますが、建物自体は1908年以降のもので、掃除のやりがいがありました。私たちも9月の研修会でこの宿舎を使わせてもらうつもりですが、宿泊する皆さんにも喜んでもらえると思えます。



きれいになった郷台宿舎

6 月 度 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 の 報 告

～ 下 刈 り 作 業 ・ 木 の 名 札 つ く り ～

事務局 石川 輝雄

6月23日(金)、24日(土)に定期ボランティア活動を行いました。6月23日はむし暑い曇り空でしたが、幸い雨は降らずにすみました。参加者は西山、原口、恵さんと石

川の4名で職員は大塚さんと算用子さんです。今日の作業は下刈りで場所は何回か作業をしたことのある川台（17林班D₅、D₄小班）です。この場所には若い苗木が植えてありますが、竹や草が背丈以上に繁っていて、苗がどこにあるか分からない状態になっていました。そこで作業方法を分担し、先ず苗の周りの竹や草を大鎌で“つぼ刈り”をしてから、残りの場所をエンジンの刈払機で刈り取りました。エンジンの刈払機を使用したのはボラン



刈払機を使つての下刈り

ティア会としては今回が初めてです。

午前中でD₅小班の下刈りが終り、昼食を食べていた時、恵さんが虫にさされたらしく、腕が少しちくちくすると言いだしました。多少寒気もするとのこと念のため、作業をやめて病院へ向かいました。結局、ハチ（多分アシナガバチ）刺されでアナフィラキシーの症状が始まっていたらしく、1泊入院することになってしまいました。

本人のたいしたことはないという言葉

を聞いていてそのまま作業を続けたら大事になっていたのではないかとおもわれます。

ハチの活動時期はまだまだ続きますので、互いに注意するとともに、たいしたことではないと思っても病院に行くことが必要とつくづく感じました。

（もう一度、確認のため、前に相川さんが配布したハチ刺されと熱中症に対する対策を掲載しました。）

午後はD₄小班の下刈りを続け、今日の作業は終了しました。

6月24日（土）は非常に暑い晴天となりました。昨日のメンバーに加え、朝から岩崎、相川さんが参加しました。今日の作業は“夏の森林教室”の時に使う名札づくりです。ビヤクシンの枝を輪切りにした板の両面を紙やすりで磨き、紐を通す穴を開ける作業です。個数が多いので、紙やすりでみがく作業にかなり時間がかかりました。また、記念になるように裏面に“東京大学千葉演習林”の焼印を押しました。

演習林で行うイベントを行う場合、職員の当日の対応はもちろんですが、このような事前の準備作業が非常に大変であることが良くわかります。今までも行っていることですが、演習林の仕事に役に立つことなら、できる限り協力しようと思いました。



コツコツとヤスリがけ



焼き印を入れた名札のウラ面

ハチ刺されと熱中症に対する対策

ボランティア 相川美絵子

1. ハチ刺されに対する対策

ハチ刺されの件数は8月をピークに、6月から9月に集中しており、この期間がハチ刺されの危険期です。参考までに日本のハチ刺されによる年間死亡者数は、約40人とも言われています。

ハチに刺されたときの症状は、ハチの毒そのものの薬理作用によるものと、ハチの毒に対するアレルギー反応の2つがあり、**局所症状**と**全身症状**として現れます。

局所症状は、赤く熱をもってはれ、痛みをとまいません。

全身症状は、ショック反応です。

一般的に1回のハチさされ事故で重いショック症状が生ずることは少ないです。(まれに初めて刺された場合によっても生ずることがあるといわれています。)

過去にハチにさされ、すでに体のなかで抗体が産生されている場合に、もう一度刺されることによってアナフィラキシーが生ずる(全身のじんましん、呼吸困難、腹痛、発熱、血圧低下)等の症状を呈し、ショックによって死に至ることもあります。

刺されたところ以外にかゆみが広がる、息切れがする、喘鳴がある、冷や汗が出る、意識が遠のくなどの症状があらわれたらとにかく早急に受診してください。

ハチに刺されないために

1. ハチは黒いものに攻撃をするので、できるだけ白色系統の着衣をまとい露出部分を少なくしてください。また、防蜂網を準備しますので必ず着用してください。
2. 匂いもハチを刺激し攻撃の対象となるので、ヘアースプレー、ヘアートニック、香水、化粧品などの使用は控えてください。
3. ハチは巣に直接触れなくとも、数m近づいただけで刺しにくる事があるので、巣のありそうな環境ではそのことを念頭において行動してください。

ハチに刺されてからの対処

1. 針が残っているときは、根元から毛抜きで抜くか横に払って落とす。針をつまむと針の毒をさらに注入することがあるので注意。
2. 刺されたら直ぐに、遅くとも2分以内に吸引器(職員が持っています)で患部から毒を吸い取り応急手当をする。
3. 仰向けにして、頭を低くする。

刺された部位が四肢であれば、その部位より心臓に近いほうを縛る。但し、10~20分ごとに縛りをゆるめ、血液を流すこと。

あるいは、刺された部位を冷やす。

稀に刺された部位から、細菌感染をおこすことがあるので汚い手でいじらないこと。
尿をかけることは効果がないばかりか、細菌汚染の可能性がある。

応急処置が終わり次第、アレルギー体質の方は必ず病院へ行く。またアレルギー体質でなくても症状により病院へ行くこと。

2. 熱中症に対する対策

下刈りや除草の作業では暑い中、大量に汗をかくことが予想されるので、熱中症にならないような注意が必要です。こまめに水分を補給しましょう。汗からは水と同時に塩分も失われますので、水分の補給には0.2%程度の食塩と5%程度の糖分を含んだものが理想です。

軽症度 熱失神 熱痙攣	激しい運動などをして大量の汗をかくと水分と塩分を失います。この時、水分だけを補給すると体内の塩分が非常に少なくなり、四肢や腹部の筋肉がけいれんを起こして痛くなります。熱けいれんを起こすと、体温は正常～38度、皮膚は冷たく汗をかく状態になります。
対応	すぐに涼しい場所へ移動させて安静に、塩分と水分の補給をしましょう。スポーツドリンクか、できれば塩分濃度の高い生理食塩水をとりましょう。
中程度 熱疲労	大量の汗をかいたのに水分を補給せず、脱水症状になることです。暑さに慣れない時期や、ふだんあまり運動をしない人に起こりやすいです。熱疲労を起こすと、体温は正常～38度、皮膚は蒼白で冷たい感じがし、脈拍が増加したり血圧が下がったりします。ときに意識障害を伴うことがありますし、熱疲労から熱射病になる危険性もありますので、注意してください。
対応	軽症度の対応に加えて、脇、大腿部のつけね、首などを氷を入れたアイスパックで冷やしてください。スポーツドリンクや水などが飲めない、飲んで直ぐに吐く場合は、急いで救急車を要請するか医療機関に運びます。
重症度 熱射病	熱中症の中でもっとも重症で、命にかかわる危険があります。体に熱がたまり体温が41度に達すると、脳が体温を調節できなくなります。汗が出なくなり、皮膚が乾燥し、体全体が熱くなります。緊急に病院での治療が必要です。
対応	すぐに救急車を要請してください。救急車が到着するまでは、涼しい場所へ移動させて衣服を脱がせます。タオルなどに水を含ませ、体を拭きながらうちわなどで風を当てて体温を下げてください。氷などの冷たすぎるもので体を冷やしてはいけません。

9月 お月見研修のご案内

～ 歩道巡視ボランティア・自然観察・郷台宿泊研修～

気候の良い時期に会員のなるべく多くの人と一堂に会したいという希望と、ボランティア会として案内役をする場が今後多くなると思われるので、想定されるコースの観察体験のための研修をいたします。

郷台宿舎に宿泊してお月見やバーベキューも予定していますので皆様のご参加をお待ちしております。

なお、今回は非会員の人（家族、友人等で高校生以上）でも会員の同伴で参加することができます。

日 時 平成 18 年 9 月 9 日（土）～10 日（日）（宿泊）

コ ー ス 郷台林道（清澄作業所と郷台宿舎間往復）詳細 8 月 26 日の下見で決めます。

宿泊場所 郷台寄宿舎
（君津市折木沢 郷台作業所の TEL 0439-39-3121 携帯電話は通じません）

集 合 9 月 9 日（土） 清澄作業所 13：00
（安房鴨川・安房天津・上総亀山駅から送迎希望の方は事務局へ相談下さい）

解 散 9 月 10 日（日） 清澄作業所 13：00 頃

参 加 費 会員 2,000 円（施設使用料 130 円、9 日夕食と 10 日朝食の食費）
非会員 2,500 円（同上＋保険料）

持 ち 物 飲み物、野外活動ができる服装、靴（登山靴などしっかりしたものや地下足袋）、懐中電灯、寝袋または毛布、筆記用具、軍手、タオル（シャワー有り）、雨具、リュック、保険証のコピー、常備薬、マイカップ、宿泊用の道具、会員証、ランタン（持っている人のみ）など。宿泊用荷物は車で宿泊場所まで運びますので、宿泊用の道具と歩くときの道具は分けておいてください。

雨 天 時 雨天が予想される場合は中止します。（中止の場合は 8 日の正午までに連絡）。

受付期間 8 月 15 日（火）～8 月 28 日（月）

申込方法 電話、FAX、E-mail のいずれかでお申し込み下さい。
非会員については、会員との間柄、生年月日（保険に必要）を明記して申し込み下さい。

キャンセル 買出しの都合のため 2 日前までご連絡下さい。

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies
事務局 石川 輝雄 宛
（連絡先は活動要項を参照）

千葉演習林ボランティア会 Abies通信 No.10 2006/8/5 発行

*事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102 石川輝雄

*東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770 TEL:04-7094-0621
FAX:04-7094-2321 E-Mail:chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp
<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/>